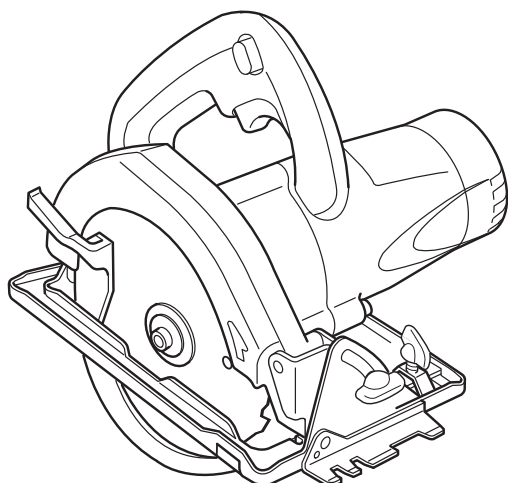


丸ノコ W-1450

取扱説明書

保証書付



もくじ

■安全上のご注意	1～10
■各部の名称・仕様	11
■付属品・用途・別販売品	12
■ご使用前の準備	13～14
■ご使用前の点検	14～16
■ご使用前の調整	17
■操作方法	18～21
■作業方法	22～24
■別販売品について	25～27
■保守と点検	28～29
■保証書	裏表紙



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本製品の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△危険」、「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △危険：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
 - △警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△危険」・「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
 - お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡ししてください。

警告

A) 作業環境

1. 作業場は、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある場所で使用しないでください。
 - ・ 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

警告

B) 電気に関する安全事項

1. 電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグを改造したり、アースした電動工具と一緒にアダプタプラグを使用したりしないでください。
 - ・改造していない電源プラグと適切な電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. パイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・身体がアースされたものと接触した場合、感電するおそれがあります。
3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・電動工具内部に水が入り、感電するおそれがあります。
4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・電源コードを持って電動工具を運んだり、電源プラグを抜くために引っ張ったりしないでください。
 - ・電源コードを熱、油、角のあるところや動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、からまって感電するおそれがあります。
5. 屋外で使用する場合、屋外使用に適した延長コードを使用してください。
 - ・屋外使用に適した延長コードを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
6. 電動工具を湿った場所で用いることが避けられない場合、電動工具を接続する電源が労働安全衛生規則や電気設備に関する技術基準などに規定された感電防止用の漏電しゃ断装置（RCD）を備えていることを確認してください。
 - ・漏電しゃ断装置を使用することで、感電のリスクは低減されます。
7. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・感電するおそれがあります。

C) 作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業してください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいたりする場合は、電動工具を使用しないでください。
 - ・一瞬の不注意が深刻なけがや事故を招きます。

警告

2. 安全保護具を使用してください。

- ・作業時は、常に保護めがねを使用し、必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴、ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用することで、けがや事故が低減されます。
- ・足元が滑りやすいところで作業する場合は、滑り止めのついた履物を着用してください。

3. 電源につないだ状態でスイッチに指をかけて電動工具を運ばないでください。電源プラグを電源コンセントにさし込む前にスイッチがオフになっていることを確かめてください。

- ・スイッチに指をかけて運んだり、スイッチがオンの状態で電源プラグを電源コンセントにさし込んだりすると、電動工具が意図せず始動し、けがや事故を引き起こすおそれがあります。

4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ・電源を入れたときに、取付けたキーやレンチなどが回転してけがや事故のおそれがあります。

5. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に適切な足元およびバランスを維持することで予期しない状況でも適切に操作することができます。

6. だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用せず、きちんとした服装で作業してください。髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

- ・回転部に巻込まれるおそれがあります。

7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・集じん装置を使用することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

8. 電動工具を使い慣れていても、安全性に注意して作業をしてください。

- ・不注意な行動は、重大な傷害を引き起こすおそれがあります。

D) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。

- ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
- ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。

2. スイッチに異常がないか点検してください。

- ・スイッチで始動および停止ができなくなった電動工具は使用しないでください。直ちに使用を止め、お買い上げの販売店に修理をご相談ください。そのままの状態で使用を続けるとけがや事故の原因となるおそれがあります。

警告

3. 意図しない電動工具の始動を防ぐために、次の場合はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電動工具が意図せず始動するリスクを低減することができます。
 - ・ 電動工具の調整や刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合
 - ・ 保管、または修理する場合
 - ・ その他危険が予想される場合
4. 使用しない電動工具は、乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具の操作に不慣れな方には電動工具を使用させないでください。
 - ・ 電動工具に不慣れな方が使用するとけがや事故の原因となるおそれがあります。
5. 電動工具、付属品および先端工具は適切に保管し、使用前には必ず点検してください。
 - ・ 可動部分の芯ずれおよび位置調整、締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所や機能に異常がないか確認し、異常がある場合は、ご使用前に修理してください。
 - ・ 保守が不十分な場合、けがや事故の原因になります。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない部品交換や修理は、お買い上げの販売店に依頼してください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせて、それらの取扱説明書に従ってご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故や故障の原因になります。
8. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書、および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、けがや事故の原因となるおそれがあるので使用しないでください。
9. 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 握り部が滑ると、電動工具の安全な取扱いまたは、制御を妨げるおそれがあります。
10. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

警告

11. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。

そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがや事故に至るおそれがあります。

＜異常・故障例＞

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードや延長コードに深いキズや変形がある。
- ・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・焦げくさい臭いがする。
- ・ビリビリと電気を感じる。
- ・スイッチで始動、及び停止操作できない。
- ・スイッチを入れても動かない。 等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

12. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

E) 整備

1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、けがや事故のおそれがあります。
2. 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。

丸ノコご使用に際して

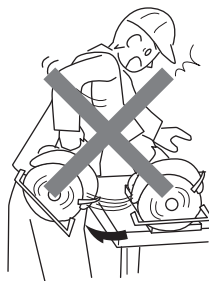
先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、丸ノコをご使用の際には、さらにつきに述べる危険・警告・注意事項を守ってください。

⚠ 危険

- a) 手は切断領域およびノコ刃から遠ざけてください。補佐する手で補助ハンドルまたはモーターケースを保持してください。
 - ・両手でハンドル、モーターケースを保持すれば、ノコ刃で手を負傷する可能性が低減します。
- b) 切断する材料の下に手を入れないでください。
 - ・材料の下側はガードがないため、手がノコ刃に接触しけがや事故の原因になります。
- c) 切込深さは切断する材料の厚さに合わせて調整してください。材料の下端からノコ刃が少し見える位が目安です。
- d) 切断する材料は手や足で保持しないで、安定した台に固定してください。
 - ・材料を確実に固定せず手や足で保持するとキックバックなどを引き起こし、けがや事故の原因になります。
- e) 壁などで隠れた配線または電動工具の電源コードを切断するおそれがある作業をするときは、丸ノコのハンドルやモーターケース等の樹脂部を保持してください。
 - ・丸ノコの金属部に触れていると、電線を切断した際に、感電するおそれがあります。
- f) 長い材料を切断する場合は、角度定規やソーガイドフェンスを使用してください。
 - ・真直ぐに切断することができ、ノコ刃が材料に挟まれにくくなるため、キックバックなどの発生を防ぐことができます。
- g) 常に内・外フランジの形状、寸法に合ったノコ刃を使用してください。
 - ・不適切な形状、寸法のノコ刃を使用すると、ノコ刃が正しく取付けられなくなり、けがや事故の原因になります。
- h) 内・外フランジ、固定ボルトは正規品を使用してください。
 - ・正規品は安全性、機能を考慮して、設計されています。
 - ご使用前に内・外フランジ、固定ボルトが破損していないことを確認してください。

キックバックの原因および作業者の防止策

- ー キックバックは、切断する材料にノコ刃が挟まれたり、振れが大きくなったノコ刃が材料に噛み込んだりしたときに、丸ノコが材料からノコ刃がせり上がり、作業者の方に向かってくる意図しない反動です。
- ー 切断している材料に固く挟まれたりした場合にノコ刃が停止し、モーターの反動で丸ノコが急に作業者に向かってくる場合があります。



⚠ 危険

- － 切断している材料の中でノコ刃がねじれたりまたは振れが大きくなると、ノコ刃の後ろ側が材料の上面にかみ込み、ノコ刃がせり上がって、作業者に向かってくることがあります。

キックバックは、丸ノコの誤使用または間違った操作により発生します。
次の項目を守ることで、キックバックを回避することができます。

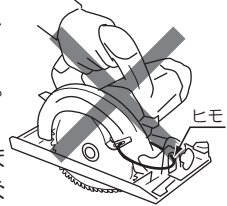
- a) 丸ノコをしっかりと握り、キックバックを引き起こしたときに抵抗できるように身体および腕を構えてください。
キックバックを引き起こしたときに、ノコ刃が身体に接触しないように、ノコ刃平面線上に立たず、ノコ刃平面の左右どちらかにずれて作業してください。
 - ・ 適切に操作することで、作業者はキックバックなどの不意な反動を抑制することができます。
- b) ノコ刃が切断している材料に拘束されているかまたは何かの理由で切断を中断しているときは、スイッチを切り、ノコ刃が完全に停止するまで、ノコ刃が材料の中で動かないように保持してください。
 - ・ ノコ刃の回転中に、丸ノコを材料から外そうとする（上方、後方に動かす）と、キックバックなどの不意な反動を引き起こすおそれがあります。ノコ刃が完全に停止してから、中断した原因を取除いてください。
- c) 切断している材料の途中から切断作業を再開する場合は、切り溝の両側面の材料によってノコ刃が拘束されていないことを確認してください。
 - ・ ノコ刃が拘束されていると、丸ノコを再始動したときに、キックバックなどの不意な反動を引き起こすおそれがあります。
- d) 大きなパネルは切断するときに自重でたわんで、ノコ刃を挟み、キックバックなどの不意な反動を引き起こしやすくなります。パネルの両端、切断線の両端の下側に支持台を置いてください。
- e) 摩耗して切れなくなったノコ刃または損傷したノコ刃は使用しないでください。
 - ・ 切り溝が狭くなり、ノコ刃と材料が過剰に擦れたり、ノコ刃が挟まれたりし、キックバックなどの不意な反動を引き起こしやすくなります。
- f) 切断する前に、切込調整レバーおよび傾斜用蝶ボルトをしっかりと締めてください。
 - ・ 切断中に切込深さや傾斜角が変わると、キックバックなどの不意な反動を引き起こしやすくなります。
- g) 既存の壁、その他の見えない部分への切込み作業（プランジカット）を行なうときは、特に注意してください。
 - ・ 切込んだノコ刃が、壁面の裏側にあるガス管、水道管、電気配線などの埋設物に触れると、キックバックを引き起こす原因になります。

⚠ 危険

丸ノコのロアガード（保護カバー）に関する安全指示

a) 使用前にロアガードを動かし、動作確認を行なってください。

- ・ ロアガードが自由に動かなかったり、瞬時に閉まらない場合は、丸ノコを使用しないでください。
- ・ ノコ刃が露出する位置で、ロアガードを固定しないでください。また、取外したりしないでください。
- ・ 丸ノコを誤って落とすと、ロアガードが変形することがあります。落下後は、ロアガードがノコ刃やその他の部分に接触しないこと、自由に動くことを確認してください。



b) ご使用前に、ロアガードがばね力で適切に動作することを確認してください。

- ・ ロアガードが損傷したり、粘着物の付着や切屑の堆積によって、動作が遅くなる場合があります。

c) ロアガードは切込み作業（プランジカット）などの特別な場合だけ、手動で動作させてください。また、ノコ刃が材料に切込んだら、ロアガードから手を離して使用してください。その他の切断作業では手動でロアガードを動作させないでください。

d) 丸ノコを置く前に、ロアガードがノコ刃を覆っていることを確認してください。スイッチを切った後も、ノコ刃がすぐに停止せず、惰性でノコ刃が回転していることに注意してください。

- ・ ロアガードがノコ刃を覆っていないと、回転中のノコ刃が床面に接触し、意図せず丸ノコが動き、手や床などを切断するおそれがあります。

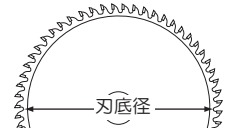
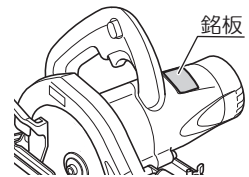
⚠ 警告

a) 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。

- ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがや事故の原因になります。

b) ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のものを使用してください。また、刃底径が 130mm 以下のノコ刃は使用しないでください。

- ・ ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがや事故の原因になります。

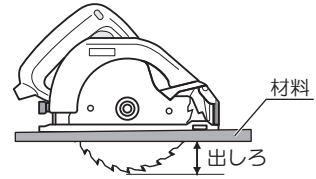


⚠ 警告

- c) 台の高さは、切り落とした材料がノコ刃と接触し、飛散するのを防止するために、少なくともノコ刃の出しろの3倍以上にしてください。

・このような台がないと、けがや事故の原因になります。

(13 ページ『●作業台を用意します』参照)



- d) 使用中は、ノコ刃や回転部、切り屑の排出部へ手や顔などを近づけないでください。

・けがや事故の原因になります。

- e) 使用中、製品の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。

・そのまま使用していると、けがや事故の原因になります。

- f) 誤って落としたり、ぶつけたときは、工具類（ノコ刃など）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

・破損や亀裂、変形があると、けがや事故の原因になります。

- g) 絶対に分解したり修理・改造しないでください。

・発火したり、異常作動してけがや事故の原因になります。

⚠ 注意

- a) 工具類（ノコ刃など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。

・確実にないと、外れたりし、けがや事故の原因になります。

- b) ノコ刃にヒビや割れなどの異常がないことを確認してください。

・ノコ刃が破損し、けがや事故の原因になります。

- c) 使用中は、軍手など巻込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。

・回転部に巻込まれ、けがや事故の原因になります。

- d) 作業前に、人のいない方向にノコ刃を向けて空転させ、本体の振動やノコ刃の面振れなど異常のないことを確認してください。

・異常があるとけがや事故の原因になります。

- e) プレーキが働くときの反発力に注意してください。

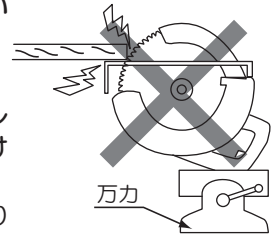
・本体を落としたりし、けがや事故の原因になります。

- f) 切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。

・強い反発力が生じ、けがや事故の原因になります。

⚠ 注意

- g) 材料に釘などの異物が入っていないことを確認してください。
・刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがや事故の原因になります。
- h) 切断しようとする材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
・手を切ったり、コードを切断し、感電のおそれがあります。
- i) 回転するノコ刃でコードを切断しないように注意してください。
万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・感電のおそれがあります。
- j) 本体を万力などで保持してノコ刃を上向きにした使い方はしないでください。
・不意の接触などで、けがや事故の原因になります。
- k) 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。また、コードを引っ張ったり、引っかけたりしないようにしてください。
・材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- l) 作業直後の刃物類（ノコ刃）、切り屑は高温になっていますので触れないでください。
・やけどの原因になります。



騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

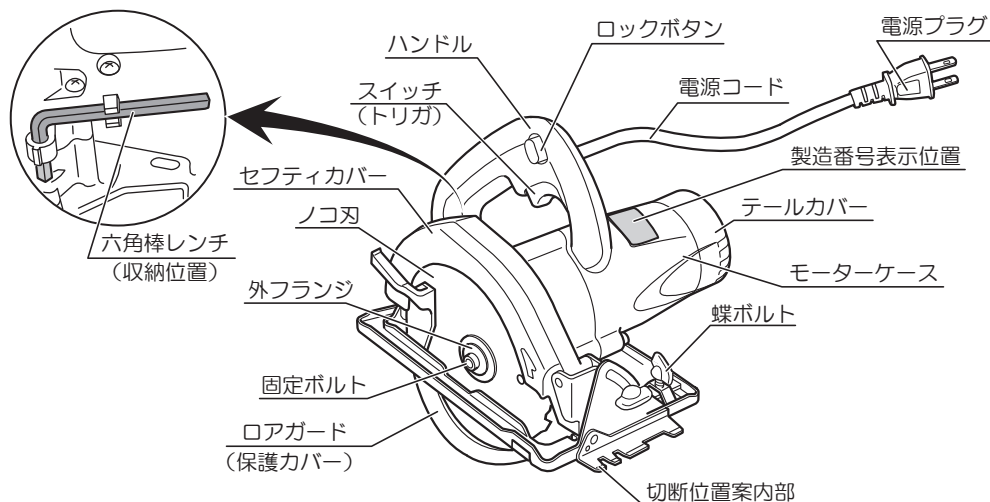
二重絶縁について

二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる2つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

各部の名称・仕様

●各部の名称



●仕様

- ・電源 単相・交流 100V 50/60Hz
- ・定格電流 5.7 A
- ・消費電力 550 W
- ・無負荷回転数 3,700 min⁻¹
- ・最大切込深さ^{※1}
 - 90° (直角切断時) 46 mm
 - 45° (傾斜切断時) 30 mm
- ・ノコ刃寸法 (外径×内径) 147 × 20 mm
- ・本体寸法 (長さ×幅×高さ) 243 × 205 × 213 mm
- ・コード長さ 2 m
- ・質量 2.1 kg
- ・絶縁方式 二重絶縁

※1 外径 140mm, 内径 20mm のノコ刃も使用できますが、その場合、最大切込深さは 42.5mm (90° 時) 28mm (45° 時) になります。

◆ 上記は当社の基準に基づいた値です。

付属品・用途・別販売品

● 付属品

- ・ チップソー（本体取付）…………… 1
（外径） （内径） （刃数）
147mm × 20mm × 24
- ・ 六角棒レンチ 5mm（本体収納）…………… 1

● 用途

- ・ 各種木材の切断



本製品では金属、石材など木材以外の切断作業はしないでください。
また、切断砥石での切断、ベンチスタンドに取付けての使用はできません。

● 別販売品

- ・ チップソー※/レーザースリットチップソー※
（外径） （内径）
147mm × 20mm
- ・ ノズルセット（25 ページ参照）
- ・ 集じんホース（26 ページ参照）
（本体側） （集じん機側）（長さ）
外径 30mm × 外径 38mm × 2.5m
- ・ ホースバンド
- ・ ソーガイドフェンス

※ ノコ刃にドライバーさし込み穴がないものは、別途スパナ (22mm) が必要です。



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの
販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



ご使用前の準備

●作業する場所に関して

- ・作業する場所は整頓をし、明るくしてご使用ください。

●漏電しゃ断器設置のすすめ

- ・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、定格感度電流が30mA以下の漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●作業台を用意します

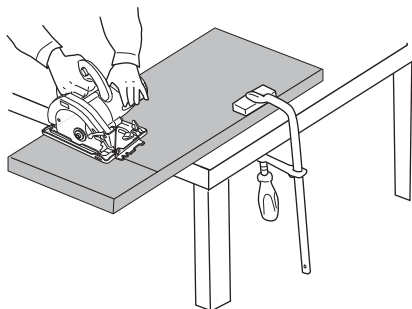
- ・ノコ刃は材料の下面より出ますので、材料は作業台の上に置いて切断してください。

作業台の高さ

- ・ノコ刃およびロアガードが地面に接触しないように、十分な高さ（ノコ刃の出しろの3倍以上）にしてください。

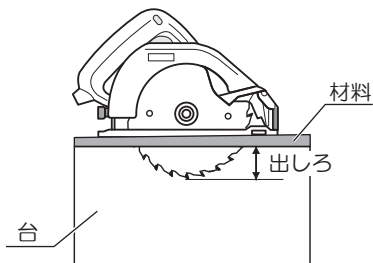
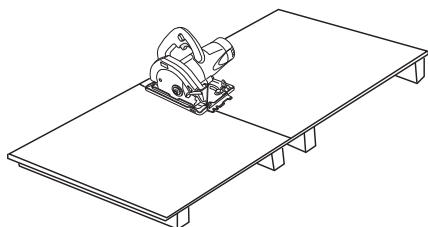
材料の固定

- ・切断する材料（切り残し側）をバイスなどで固定してください。両手で作業することができます。



⚠ 警告

- ・材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台または角材を設けてください。
- ・角材などを利用する場合は、地面の平らなところを選び、角材を固定してください。
- ・切り落とした材料がノコ刃と接触し、飛散するのを防止するために、台の高さは、ノコ刃の出しろの3倍以上にしてください。このような台がないと、けがや事故の原因になります。



●延長コードを使用する場合

⚠ 警告

- ・延長コードは損傷のないものを用意してください。

- ・電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。
右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

※ 延長コードを使用すると能力が低下します。

コードの太さ (導体公称断面積)	最大の長さ
1.25mm ²	15m
2.0mm ²	30m

ご使用前の点検

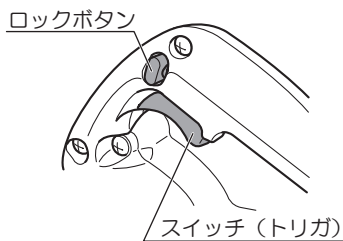
⚠ 警告

- ・ご使用前に次のことを確認してください。

① ～ ⑤項については、電源プラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

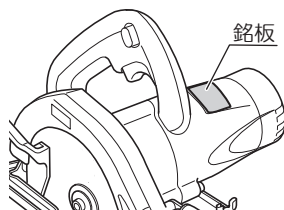
① スイッチ

- ・スイッチが切れていることを確認してください。スイッチが入っていることを知らずに、電源プラグを電源コンセントにさし込むと、不意に動き、思わぬけがや事故の原因になります。



② 使用電源

- ・必ず銘板に表示してある電圧（100V）で使用してください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に高速となり、本体が破損するおそれがあります。

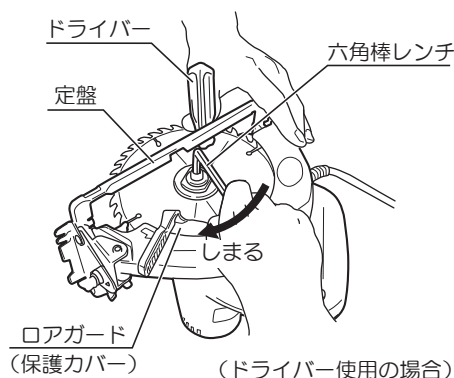


ご使用前の点検

③ ノコ刃の締付け

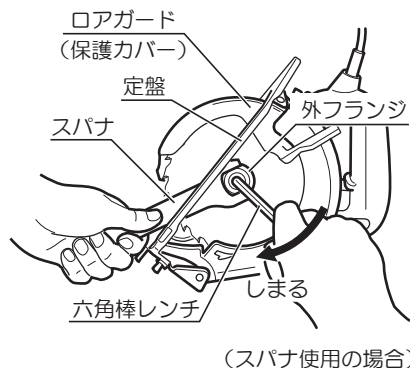
(ドライバー使用の場合)

- ・ ロアガード（保護カバー）を上げた後、ノコ刃の穴にお手持ちのドライバーをさし込み、定盤面を利用してノコ刃が回らないように固定します。
- ・ ノコ刃が固定された状態で、付属品の六角棒レンチで固定ボルトを矢印方向に回して締付けます。



(スパナ使用の場合)

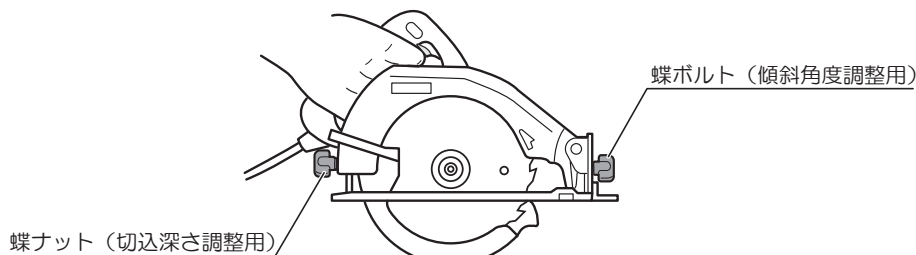
- ・ ノコ刃にドライバーのさし込み穴がない場合は、お手持ちのスパナ（22mm）で外フランジを押さえてノコ刃を固定し、付属品の六角棒レンチで固定ボルトを矢印方向に回して締付けてください。



④ 蝶ボルト・蝶ナットの締付け具合

⚠ 警告

- ・ 蝶ボルト（傾斜角度調整用）と蝶ナット（切込深さ調整用）が十分締まっていることを確認してください。ゆるんでいると、けがや事故の原因になります。



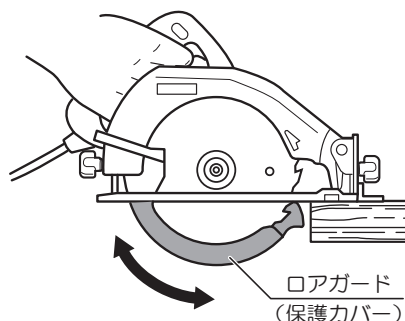
⑤ ロアガード（保護カバー）の動作

⚠ 警告

- ・ ロアガード(保護カバー)は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。ノコ刃が露出していると、けがや事故の原因になります。

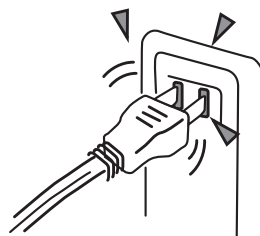
- ・ ロアガードは、身体がノコ刃に触れるのを防ぐものです。必ずノコ刃を覆うように円滑に動くことを確認してください。

- ・ 万一、ロアガードが円滑に動かない場合は、決してそのまま使用しないでください。この場合は、お買い上げの販売店に修理をご用命ください。



⑥ 電源コンセント

- ・ 電源プラグをさし込んだとき、電源コンセントががたついたり、電源プラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。そのままお使いになりますと、事故や故障の原因になります。



⑦ ブレーキの作動

⚠ 注意

- ・ ブレーキがかかるとき反発力が発生しますので、本体をしっかり保持してください。本体を落としたりし、けがや事故の原因になります。

- ・ 本製品はスイッチを切ると同時にノコ刃の回転にブレーキがかかる構造になっています。ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。
- ・ 万一、正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店に修理をご用命ください。

ご使用前の調整

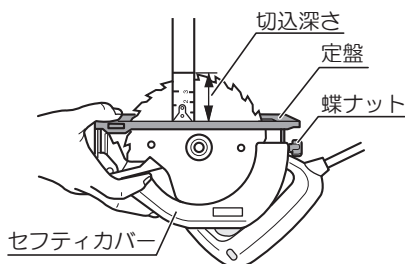
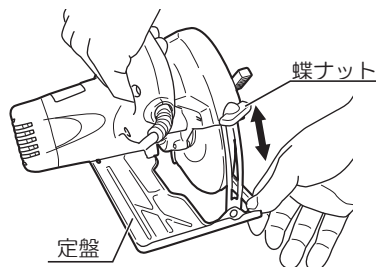
⚠ 警告

- 調整の際は万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

●切込深さの調整

⚠ 警告

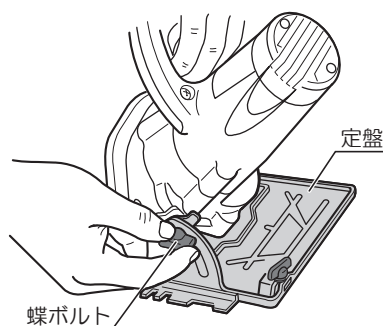
- 蝶ナットがゆるんでいると、けがや事故の原因になります。調整後、十分に締付けてください。
- 本体後方の蝶ナットをゆるめて、定盤を上下させて調整します。
切込深さ寸法は、定盤面から出ているノコ刃の寸法を測って決めます。
調整後は、蝶ナットをしっかりと締付けてください。



●傾斜角度の調整

⚠ 警告

- 蝶ボルトがゆるんでいると、けがや事故の原因になります。調整後、十分に締付けてください。
- ノコ刃は0～45°まで傾けて切断することができます。
- 傾斜角度の調整は定盤前の蝶ボルトをゆるめ、定盤を傾斜させます。傾斜角度の目盛は定盤の前面にあります。
※ 正確な角度で切断したい場合は、定盤とノコ刃の角度を定規で測ってください。
- 傾斜角度を決めたら必ず蝶ボルトを締付けて固定してください。



傾斜させて切込深さを最大にし、そのまま 0° に戻した場合、刃物と定盤が直角にならないことがあります。その場合は、少し切込深さを浅くして直角調整を行ない、その後、切込深さを調整してください。刃物と定盤の間に定規などを当てて調整すれば、より正確な角度合わせができます。

操作方法

●スイッチの扱い方

⚠ 警告

- ・ 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となり、けがや事故の原因になります。

⚠ 注意

- ・ ブレーキが働くときの反発力に注意してください。本体を落としたりし、けがや事故の原因になります。

- ・ スイッチは引き金方式です。
トリガを引くと入り、放すと切れます。

連続運転する場合

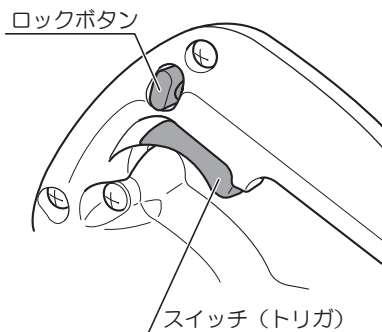
- ・ トリガをいっぱいまで引いた状態で握り部側面にあるロックボタンを押込むと（左右どちらでもよい）、トリガから指を放してもスイッチは入った状態になります。

スイッチを切るとき

- ・ 再度、トリガを引くとロックボタンが解除され、トリガから指を放すとスイッチは切れます。

ブレーキ付

- ・ スイッチを切るとノコ刃がすばやく止まるブレーキ機構を備えています。



操作方法

●ノコ刃の交換

⚠ 警告

- ・ノコ刃の交換の前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがや事故の原因になります。
- ・ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のものを使用してください。
また、刃底径が130mm以下のノコ刃は使用しないでください。
ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがや事故の原因になります。
- ・ノコ刃取付け後は、六角棒レンチ、ドライバーを取外し、ノコ刃がスムーズに回転することを確認した後、スイッチを入れるようにしてください。
六角棒レンチ、ドライバーが飛ぶなどしてけがや事故の原因になります。

⚠ 注意

- ・ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してください。
ノコ刃が破損し、けがや事故の原因になります。
- ・ノコ刃の交換は取扱説明書に従って確実にこなしてください。
確実にしないと、外れたりし、けがや事故の原因になります。

（取外し）

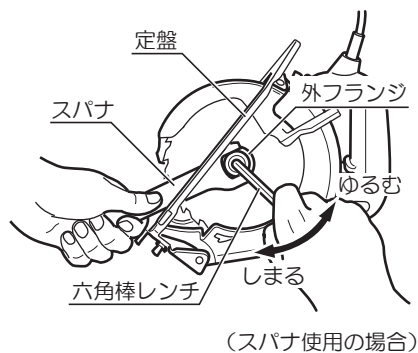
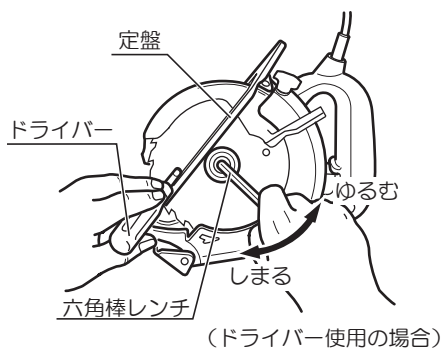
- ① 本体収納の六角棒レンチを取出します
- ② 切込深さを調整します
 - ・切込深さを最大にして、安定した台の上に丸ノコを置きます。
（17 ページ『●切込深さの調整』参照）

③ ノコ刃を固定します

- ・ ロアガードを上げた後、ノコ刃の穴にお手持ちのドライバーをさし込み、定盤面を利用してノコ刃が回らないように固定します。

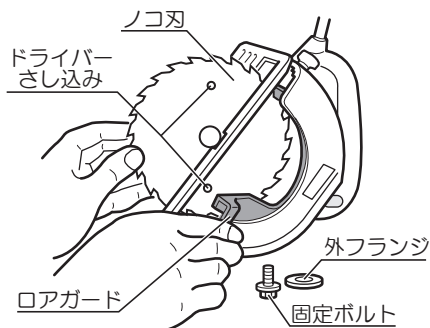


ノコ刃にドライバーのさし込み穴がない場合は、お手持ちのスパナ(22mm)で外フランジを押さえてノコ刃を固定します。



④ 固定ボルト、外フランジを外します

- ・ ノコ刃が固定された状態で、付属品の六角棒レンチを反時計方向に回し固定ボルトをゆるめ、固定ボルト、外フランジを取外します。



- ### ⑤ ロアガードのツマミを持って、ロアガードをセフティカバーの中に引込め、ノコ刃を取外します

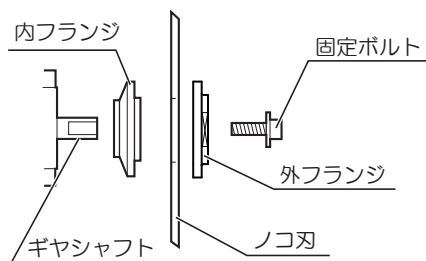
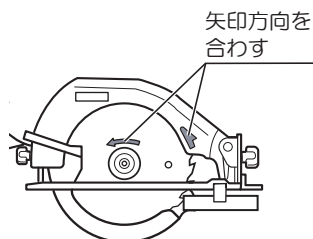
操作方法

(取付け)

- ① ノコ刃の取付けは、取外しと逆の手順で行なってください。



- ・ ノコ刃の矢印とセフティカバーの矢印方向が一致するように取付けてください。
- ・ 内フランジは、凸のついている方がノコ刃側になるように取付いているか確認してください。



- ② 交換作業が終了後は、六角棒レンチを本体に収納してください。

作業方法

⚠ 警告

- ・ 電源コンセントにつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。不意な始動によるけがや事故の原因になります。
- ・ 切断中に本体をこじったり、強く押しすぎないでください。
まっすぐ静かに進めてください。モーターに無理がかかるとともに、反発力を受け、けがや事故の原因になります。
- ・ ロアガード（保護カバー）は、絶対に固定したり取外したりしないでください。また、円滑に動くことを確認してください。けがや事故の原因になります。
- ・ ノコ刃を上向き、横向きにした使い方はしないでください。けがや事故の原因になります。
- ・ 使用中は、ノコ刃や回転部、切り屑の排出部へ手や顔などを近づけないでください。けがや事故の原因になります。
- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。（保護めがね、防じんマスクは市販品を利用してください。）
- ・ 使用前にロアガード（保護カバー）やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか所定の機能を発揮するか確認してください。
異常があるとけがや事故の原因になります。
- ・ ノコ刃は、銘板に表示してある範囲内のものを使用してください。また、刃底径が130mm以下のノコ刃は使用しないでください。ロアガード（保護カバー）の覆いが不完全となり、けがや事故の原因になります。
- ・ 切断途中で、ノコ刃を回転させたまま本体を戻さないでください。必ずスイッチを切り、回転が完全に止まってから本体を持上げてください。
回転させたまま本体を戻したり、持上げると強い反発力が生じ、けがや事故の原因になります。
- ・ 作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- ・ 回転するノコ刃で、コードを切断しないよう注意してください。
- ・ ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
- ・ 使用中は、軍手など巻込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。
回転部に巻込まれ、けがや事故の原因になります。

作業方法

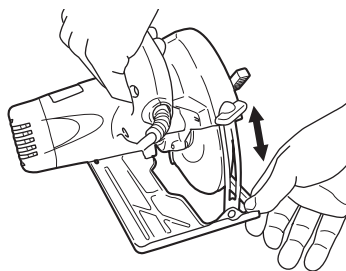
●墨線に沿って切断する（直角切り）

⚠ 警告

- ・安全のために①の操作はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて行なってください。

① 切込深さを調整します

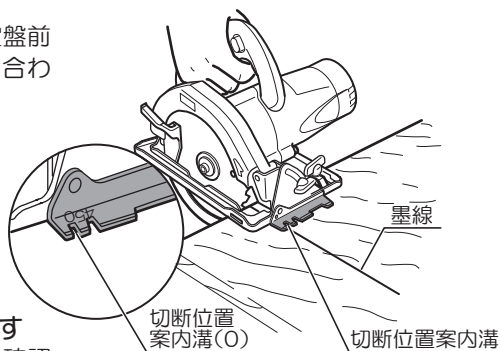
- ・材料の厚さに合わせて、切込深さを調整します。



② スイッチが切れていることを確認後、電源プラグを電源コンセントにさし込みます

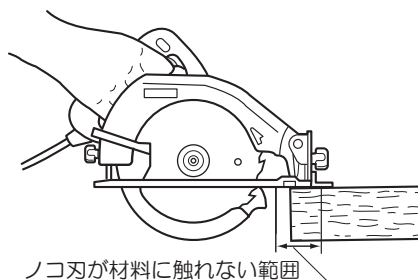
③ 墨線に合わせてます

- ・材料の上に本体（定盤）をのせ、定盤前部の切断位置案内溝（O）を墨線に合わせてます。



④ スイッチを入れ、ゆっくり進めます

- ・ノコ刃が材料に触れていないことを確認してスイッチを入れます。
- ・ノコ刃の回転が上がリ、回転（全速）が安定したら定盤面を材料に密着させ、ガイドの案内溝が墨線をなぞるようにゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにしてください。
- ・切断終了後は、ノコ刃を切断材から外してスイッチを切ります。



（作業のコツ）

- ・ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。特に切り始めと、切り終わりはゆっくり進めてください。

●傾斜で切断する

⚠ 警告

- ・安全のために①・②の操作はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

① 傾斜角度を調整します

- ・ノコ刃は0～45°まで傾けて切断することができます。定盤の前側の蝶ボルトをゆるめ、定盤を傾斜させます。



傾斜角度の目盛は定盤の前側にあります。正確な角度で切断したいときは、定盤とノコ刃の角度を定規で測定してください。

- ・傾斜角度を決めたら必ず蝶ボルトを締付けてください。

② 切込深さを調整します

- ・材料の厚さに合わせ切込深さを調整します。

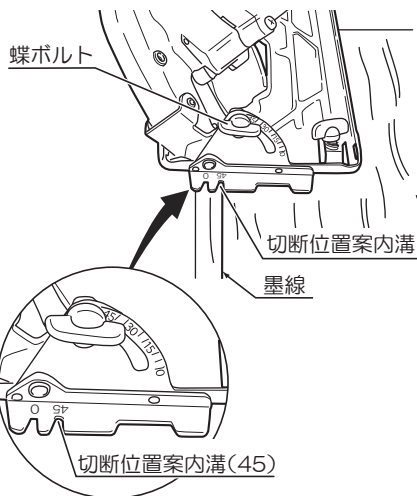
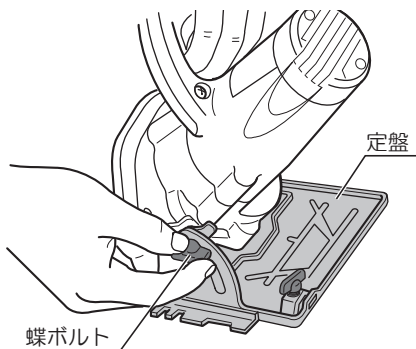
③ スイッチが切れていることを確認後、電源プラグを電源コンセントにさし込みます。

④ 墨線に合わせてます

- ・墨線に沿って切断する時は、材料の上に本体（定盤）をのせてノコ刃を墨線に合わせます。傾斜角度45°の場合は、定盤前部の切断位置案内溝（45）を墨線に合わせます。

⑤ スイッチを入れ、ゆっくり進めます

- ・ノコ刃が材料に触れていないことを確認し、スイッチを入れます。
- ・ノコ刃の回転が上がり、回転（全速）が安定したら定盤面を材料に密着させ、墨線をなぞるようにゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにしてください。
- ・切断終了後は、ノコ刃を切断材から外してスイッチを切ります。



(作業のコツ)

- ・ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。
- ・特に切り始め、切り終わりはゆっくり進めてください。

別販売品について



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



● ノズルセットの使い方

- ・ 別販売品のノズルセット（集じんノズル、ナベ小ネジ（M5））と集じんホースなどを使用して、集じん機に接続すると粉じんの少ない作業ができます。

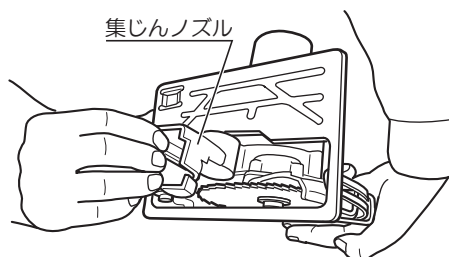
① ノズルセットの取付け、取外し

⚠ 警告

- ・ 安全のために必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

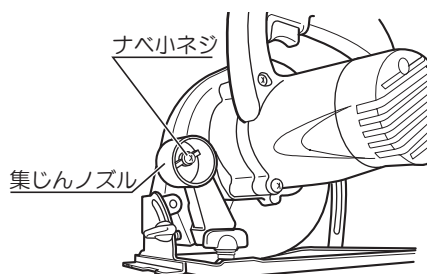
（取付け）

- ・ セフティカバー後方の蝶ナットをゆるめ、定盤を下側に動かしてロアガードを少し持ち上げます。定盤の下側から集じんノズルをさし込み、集じんノズルの切欠き部にノコ刃がはまるように取付け、ナベ小ネジで本体に固定します。



（取外し）

- ・ 取外しは、取付けと逆の手順で行ないます。

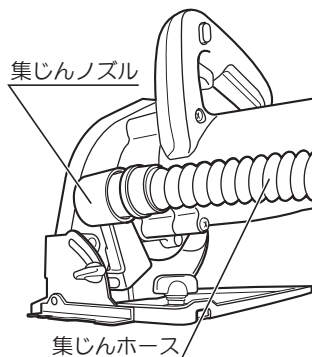


② 集じん機との接続

1. 集じんノズルの口に集じんホース（外径 30mm）を接続し、その反対側（外径 38mm）を集じん機に接続してください。

※ 接続する集じん機により接続方法が異なりますので、集じん機の取扱説明書をよくお読みください。

2. 集じんホースが材料とモーターケースの間に挟まることを防止するため、別販売品のホースバンドで集じんホースを本体に固定してください。



別販売品について

●ソーガイドフェンスの使い方

⚠ 警告

- ・安全のために①・②の操作はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

同じ幅の加工をする場合は、別販売品のソーガイドフェンスを使用すると、墨線を入れる必要がなく、大変便利です。

① 切込深さを調整します

- ・材料の厚さに合わせて、切込深さを調整します。

② ソーガイドフェンスを取付けます

1. 定盤の前側にある長穴にソーガイドフェンスを横からさし込みます。

※ ソーガイドフェンスは定盤の左右どちらからでも取付けられます。

2. ソーガイドフェンスの案内面（内側）からノコ刃までの寸法が切断幅となります。ソーガイドフェンスを動かして切断幅を決めます。

3. 蝶ボルトを締め、ソーガイドフェンスを固定します。

③ スイッチが切れていることを確認後、電源プラグを電源コンセントにさし込みます。

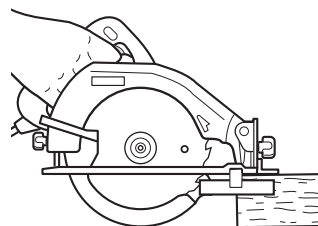
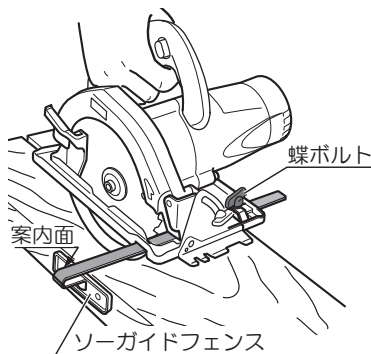
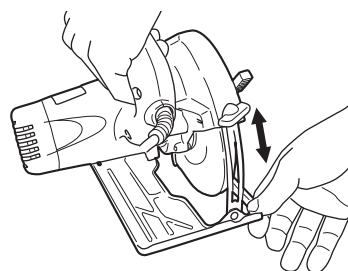
④ 材料の上に本体（定盤）をのせ、ソーガイドフェンスの案内面を材料の側面に沿わせま

⑤ スイッチを入れ、ゆっくり進めます

- ・ノコ刃が材料に触れていないことを確認し、スイッチを入れます。
- ・ノコ刃の回転が上がり、回転（全速）が安定したら定盤面を材料に密着させ、ゆっくり前方に進め、切り終るまでこの状態を保つようにしてください。
- ・切断終了後は、ノコ刃を切断材から外してスイッチを切ります。

（作業のコツ）

- ・ひき肌をきれいにするには、一定の速さでまっすぐに進めてください。特に切り始め、切り終わりはゆっくり進めてください。



保守と点検

⚠ 警告

- ・ 保守、点検、部品交換などのお手入れの前には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがや事故の原因になります。
- ・ 絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがや事故や事故の原因になります。

● ノコ刃の点検について

- ・ 切れ味の悪くなったノコ刃をそのまま使用すると、モーターに無理がかかり作業能率も落ちます。早めに目立てするか新品と交換してください。
(交換方法は、19～21 ページ『●ノコ刃の交換』を参照してください。)

⚠ 警告

- ・ 切れ味の悪くなったノコ刃はそのまま使用しないでください。
無理して使用すると、切斷時の反力が大きくなり、けがや事故の原因になります。

● 各部取付けネジの点検

- ・ ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

● 使用後の手入れ

- ・ 油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
- ・ ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。

● ロアガード（保護カバー）の動作点検と保守

- ・ ロアガードは、いつも円滑に作動するようにしてください。なお、不具合のときは速やかにお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

● 作業後の保管

- ・ 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。

保守と点検

●修理について

- ・ 本製品は厳密な管理の下で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
- ・ その他、部品の購入、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

部品の購入、故障、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

■お問い合わせ

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/info/>



■電話によるお問い合わせ



0570-666-787

受付時間：

月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで

※通話料金はお客様負担となります。

回収のために下記のリョービ電動サンダーを探しています。

対象商品	外観色調	生産時期	製造番号
MS-350	ダークグリーン	1999年～2001年	44001～52000
		2001年～2002年	90001～103000
		2006年～2007年	178001～185000
S-801	ダークブルー	2001年	12001～15730
S-801S	ダークブルー	2000年～2001年	6001～7828
S-801M	グリーン	2004年～2005年	7001～9000

詳細は、こちらをご参照ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>



レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

持込修理

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から
下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束する
ものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名	W-1450	製造番号（表示位置は「●各部の名称」をご確認ください）
お客様	お名前	
	ご住所 〒	電話 ()
お買い上げ日	年 月 日	保証期間（お買い上げ日より） 6ヶ月
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼にならない場合には、京セラインダストリアルツールズ営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
(a) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
(b) 保管や手入れの不備による故障や損傷
(c) リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
(d) 水の浸入による故障または損傷
(e) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
(f) 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
(g) 天災、異常電圧などによる故障または損傷
(h) 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
(i) 本書のご提示がない場合
(j) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
(k) モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(l) 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
(m) 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
(n) 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
(o) 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社

広島県福山市松浜町 2-2-54 〒720-0802

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

